

(参 考)

請 願 文 書 表

請願第 1 号

小・中学校に青森ねぶた誌を活用した青森ねぶた教育を 取り入れることを求める請願（その 1）（採択）

（請願の趣旨）

私たちは、郷土文化である青森ねぶたを継承・発展させるため、小学校で青森ねぶた授業を開催するなど、青森ねぶたの教育を学校教育に取り入れるための活動をしている。

小学校及び中学校の学習指導要領には、国際社会で活躍する日本人の育成を図るため、各教科などにおいて我が国や郷土の文化や伝統を受けとめ、それを継承・発展させると記載してある。

現在の青森市は、地域・町内ねぶたが盛んだった時代と異なり、青森ねぶたを体験する機会が少ない子どもたちが多くなっている。近年は、はやし方のなり手も少なく、ハネトの参加者も減少しており、青森ねぶたの後継者不足が深刻化してきている。

地域・町内ねぶたは、後継者がいないなどの理由から減少の一途をたどり、地域における青森ねぶた文化の継承は大変困難な状況にある。

青森ねぶた保存伝承条例が制定された意味を踏まえると、小・中学校に青森ねぶた教育を取り入れ、青森ねぶたの文化的・歴史的な価値と認識を子どもたちに持たせることが大切と考える。

青森ねぶた教育を通じ、郷土愛を育み、青森市民としてのアイデンティティを確立させ、また、郷土文化を継承させるために、青森ねぶた誌を活用した青森ねぶた教育を積極的に小・中学校へ取り入れるよう請願する。

（請願事項）

市は、小・中学校に、市発行の青森ねぶた誌を活用した、郷土の文化である青森ねぶたに関する教育を取り入れること。

平成 28 年 2 月 24 日

請 願 者 青森市浜田二丁目 8-12

T e a m / 9 1 0

代表 工 藤 正 之

紹介議員 奈 良 祥 孝

請願第 2 号

小・中学校に青森ねぶた誌を活用した青森ねぶた教育を 取り入れることを求める請願（その 2）（採択）

（請願の趣旨）

私たちは、郷土文化である青森ねぶたを継承・発展させるため、小学校で青森ねぶた授業を開催するなど、青森ねぶたの教育を学校教育に取り入れるための活動をしている。

小学校及び中学校の学習指導要領には、国際社会で活躍する日本人の育成を図るため、各教科などにおいて我が国や郷土の文化や伝統を受けとめ、それを継承・発展させると記載してある。

現在の青森市は、地域・町内ねぶたが盛んだった時代と異なり、青森ねぶたを体験する機会が少ない子どもたちが多くなっている。近年は、はやし方のなり手も少なく、ハネトの参加者も減少しており、青森ねぶたの後継者不足が深刻化してきている。

地域・町内ねぶたは、後継者がいないなどの理由から減少の一途をたどり、地域における青森ねぶた文化の継承は大変困難な状況にある。

青森ねぶた保存伝承条例が制定された意味を踏まえると、小・中学校に青森ねぶた教育を取り入れ、青森ねぶたの文化的・歴史的な価値と認識を子どもたちに持たせることが大切と考える。

青森ねぶた教育を通じ、郷土愛を育み、青森市民としてのアイデンティティを確立させ、また、郷土文化を継承させるために、青森ねぶた誌を活用した青森ねぶた教育を積極的に小・中学校へ取り入れるよう請願する。

(請願事項)

市は、青森ねぶた誌を、小・中学校の教職員の研修資料として活用すること。

平成 28 年 2 月 24 日

請 願 者 青森市浜田二丁目 8-12

T e a m / 9 1 0

代表 工 藤 正 之

紹介議員 奈 良 祥 孝

請願第 3 号

小・中学校給食費値上げの中止を求める請願(不採択)

(請願の趣旨)

市教育委員会は、平成 28 年度から小・中学校の給食費の値上げを決定した。

昨年、私たちは小学校給食センターにおいて視察・試食を行い、栄養士から話を聞き、この 17 年間、消費税の増や物価の上昇などがあってもかかわらず、給食費(材料費)を据え置きしてきたことに関し、担当課の皆さんが大変苦勞・苦悩されてきたことを感じ、また、現在のままでは、栄養豊富でバリエーションのある豊かな給食は提供できないことも感じた。

そこで、例えば、市が一部材料費を負担するなどの、保護者負担である給食費を値上げしない方法で給食を改善していただくよう請願する。

給食費を無料にすることで若年層の流出を防いでいる自治体もあるが、青森市は、県内の他自治体と比較すると給食費が安いと、子育て世代にとって魅力となっている。

現在、子育て世帯の子育てに関する負担はとて重くなっているため、青森市で安心して子育てを続けられるよう、全額無料としないまでも、市費負担をふやすなどして給食費値上げを中止していただきたい。

(請願事項)

小・中学校給食費の値上げを中止すること。

平成 28 年 2 月 25 日

請 願 者 青森市長島二丁目 23-5
新日本婦人の会青森支部
支部長 北 田 文 子
紹 介 議 員 村 川 みどり

請願第 4 号

多子世帯における小・中学校給食費の負担軽減制度を求める請願(不採択)

(請願の趣旨)

現在、子育て世帯の子育てに関する負担はとて重くなっており、就学援助の対象とならない家庭は、子どもが多ければ多いほど負担が重くなる。

青森市で安心して子育てを続けられるよう、複数の児童・生徒が小・中学校に在籍している世帯は、給食費の負担軽減措置を受けられるようにするなどの制度を導入していただきたい。

(請願事項)

多子世帯における小・中学校の給食費の負担軽減制度を導入すること。

平成 28 年 2 月 25 日

請 願 者 青森市長島二丁目 23-5
新日本婦人の会青森支部
支部長 北 田 文 子
紹 介 議 員 村 川 みどり
